



2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月14日

上場会社名 株式会社小田原機器 上場取引所 東
 コード番号 7314 URL https://www.odawarakiki.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸山 明義
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 佐藤 健一 TEL 0465-23-0121
 四半期報告書提出予定日 2020年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の連結業績 (2020年1月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	1,907	17.5	127	△13.4	127	△12.1	104	△22.2
2019年12月期第1四半期	1,623	162.5	147	—	144	—	134	—

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 62百万円 (△61.1%) 2019年12月期第1四半期 159百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	33.76	—
2019年12月期第1四半期	43.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第1四半期	5,434	3,798	69.9	1,228.00
2019年12月期	7,133	3,794	53.2	1,226.93

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 3,798百万円 2019年12月期 3,794百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	19.00	19.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期 (予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年12月期の連結業績予想 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	2,833	△8.6	73	△46.5	71	△52.6	46	△63.5	15.02
通期	5,078	△18.3	208	△17.3	207	△21.2	148	△23.7	48.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期 1 Q	3,094,000株	2019年12月期	3,094,000株
② 期末自己株式数	2020年12月期 1 Q	989株	2019年12月期	989株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期 1 Q	3,093,011株	2019年12月期 1 Q	3,087,255株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであります。実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景として緩やかな景気回復の兆しはあるものの、新型コロナウイルス感染症が与える内外経済の下振れリスクや金融市場の変動などにより、足元の景気下振れは不可避な状況にあり、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループ製品の主要市場である路線バス業界においては、首都圏の設備更新需要に加えて、関西圏における運賃箱の代替投資等が見込まれております。

このような状況のもとで当社グループは、首都圏に加えて関西圏における運賃収受システムの更新案件を取り込むとともに、前期に引き続き「首都圏向け運賃箱」を市場に投入し、拡販を進めております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,907,509千円（前年同四半期比17.5%増）、営業利益は127,519千円（前年同四半期比13.4%減）、経常利益は127,329千円（前年同四半期比12.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は104,426千円（前年同四半期比22.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,619,234千円減少し、4,293,490千円となりました。これは主に、売上債権が356,876千円増加したものの、現金及び預金が1,337,091千円、たな卸資産が594,934千円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて79,355千円減少し、1,140,961千円となりました。これは主に、投資有価証券が60,280千円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,679,387千円減少し、1,236,778千円となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が1,500,000千円減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて22,524千円減少し、399,442千円となりました。これは主に、長期未払金が23,059千円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて3,321千円増加し、3,798,230千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点での2020年12月期の業績見通しにつきましては、2020年2月13日に決算短信で公表した内容から変更ありません。なお、業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,106,201	1,769,109
受取手形及び売掛金	1,241,963	1,602,476
電子記録債権	43,286	39,650
有価証券	70,031	20,007
商品及び製品	19,702	15,294
仕掛品	917,814	369,146
原材料	448,382	406,523
その他	76,463	85,306
貸倒引当金	△11,119	△14,024
流動資産合計	5,912,725	4,293,490
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	183,299	178,825
機械装置及び運搬具（純額）	15,734	14,594
土地	218,236	218,236
その他（純額）	64,275	60,710
有形固定資産合計	481,546	472,367
無形固定資産		
のれん	82,367	75,344
その他	103,648	97,726
無形固定資産合計	186,015	173,070
投資その他の資産		
投資有価証券	395,023	334,743
繰延税金資産	99,259	107,121
その他	82,657	77,843
貸倒引当金	△24,186	△24,186
投資その他の資産合計	552,755	495,523
固定資産合計	1,220,317	1,140,961
資産合計	7,133,042	5,434,451

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	313,697	359,823
電子記録債務	263,847	152,186
短期借入金	120,000	120,000
1年内返済予定の長期借入金	1,521,480	21,480
未払法人税等	47,104	15,125
賞与引当金	44,858	100,293
製品保証引当金	167,158	183,512
その他	438,020	284,357
流動負債合計	2,916,166	1,236,778
固定負債		
長期借入金	83,770	78,400
役員退職慰労引当金	3,123	3,570
退職給付に係る負債	277,817	283,257
資産除去債務	13,133	13,151
その他	44,122	21,062
固定負債合計	421,966	399,442
負債合計	3,338,133	1,636,221
純資産の部		
株主資本		
資本金	324,423	324,423
資本剰余金	304,423	304,423
利益剰余金	3,085,353	3,131,012
自己株式	△513	△513
株主資本合計	3,713,686	3,759,346
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	81,222	38,884
その他の包括利益累計額合計	81,222	38,884
純資産合計	3,794,909	3,798,230
負債純資産合計	7,133,042	5,434,451

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上高	1,623,709	1,907,509
売上原価	1,197,986	1,460,531
売上総利益	425,723	446,977
販売費及び一般管理費	278,443	319,457
営業利益	147,279	127,519
営業外収益		
受取利息	194	194
受取配当金	189	213
受取保険料	—	2,473
その他	714	835
営業外収益合計	1,098	3,716
営業外費用		
支払利息	3,277	3,240
その他	249	666
営業外費用合計	3,527	3,907
経常利益	144,851	127,329
特別損失		
固定資産除却損	0	162
特別損失合計	0	162
税金等調整前四半期純利益	144,851	127,167
法人税、住民税及び事業税	48,682	12,188
法人税等調整額	△38,134	10,552
法人税等合計	10,548	22,740
四半期純利益	134,302	104,426
親会社株主に帰属する四半期純利益	134,302	104,426

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	134,302	104,426
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25,427	△42,337
その他の包括利益合計	25,427	△42,337
四半期包括利益	159,730	62,088
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	159,730	62,088
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2019年1月1日 至 2019年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1
	運賃收受機器 事業	システム開発 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,545,190	78,519	1,623,709	—	1,623,709
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	15,597	15,597	△15,597	—
計	1,545,190	94,116	1,639,307	△15,597	1,623,709
セグメント利益	114,620	18,354	132,975	14,304	147,279

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額14,304千円は、主にセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2020年1月1日 至 2020年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1
	運賃收受機器 事業	システム開発 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,858,192	49,317	1,907,509	—	1,907,509
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	25,585	25,585	△25,585	—
計	1,858,192	74,902	1,933,094	△25,585	1,907,509
セグメント利益	127,832	2,899	130,732	△3,212	127,519

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額△3,212千円は、主にセグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

吸収分割による事業承継

当社は、2020年5月11日に100%子会社を設立し、2020年5月14日開催の取締役会において、株式会社アズマ（奈良県生駒郡）を吸収分割会社とし、当該100%子会社（株式会社アズマ：神奈川県小田原市）を吸収分割承継会社とする吸収分割契約を締結することを決議しました。また、同日付で、株式会社アズマと当社の100%子会社の間で吸収分割契約を締結いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 吸収分割会社の名称及び事業の内容

吸収分割会社の名称：株式会社アズマ

事業の内容：小型電子計算機及び電子計算機部品の製造販売、各種電子計算機器の製図設計の請負、ソフトウェアの開発およびソフトウェアに関連する一切の業務、プリント基板コンピューターグラフィック設計及び製造販売、プリント基板組立配線、労働者派遣事業

(2) 企業結合を行う主な理由

株式会社アズマにて長年蓄積された基板設計のシステム開発に係る技術及び通信関連技術のノウハウを当社グループに統合することにより、当社グループにおけるソフトウェア開発の効率化及び開発ノウハウの伝承が可能となり、その結果、公共交通事業における新たな事業展開の足掛かりを含め、新たな付加価値及びシナジーが創造されるものと見込んでおります。

(3) 企業結合日

2020年7月1日（予定）

(4) 企業結合の法的形式

株式会社アズマを吸収分割会社とし、当社の100%子会社を吸収分割承継会社とする吸収分割であります。

(5) 結合後企業の名称

株式会社アズマ

(6) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社の100%子会社が現金を対価として株式会社アズマの事業を承継することによるものであります。

2. 取得する事業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

相手先との守秘義務があり非開示としております。

3. 主要な取得関連費用の内容及び金額

現時点では確定しておりません。

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却の方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

5. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。